

福居



vol.115



平成26年度活動写真を合成したモザイクアート

・会長挨拶	2
・40周年を終えて	3
・Y E G 活動報告	5
・卒業生の言葉	13
・平成26年度を振り返って	14
・次年度抱負	16
・新入会員紹介	18
・あじさい会通信/サークル掲示板/ 西木田通信	20

<http://www.fcci.or.jp/fyeg/>

進むべき道を 指し示せ!



福井商工会議所青年部
平成26年度会長
菊 祥行

昔の旅人が自分の進路を見つけるときに見た北極星をモチーフに「進むべき道を指し示せ!」というスローガンの下、平成26年度の一年間メンバーと共に取り組みたかったのは、動かない(ぶれない)信念を持って各事業に取り組んで欲しい…、その信念を示して欲しい…という思いからでした。

青年経済人として自己研鑽に努める我々YEGメンバーは、時として先導者としての立場に就いた時、その成果をいかに発揮し、「進むべき道」を指し示し、導くことが求められます。私自身、福井YEGを率いる会長として、メンバーにとってはそれぞれが担当する事業を通じて実践する一年であったと思います。その成果は必ず自己の成長に結び付いている事でしょう。是非、その成長を共に自社の発展や今後の地域活性に活かしていきましょう。

進むべき道を「これからも」指し示せ!



40周年記念事業特集

会長の挨拶

菊 祥行

今年度、40周年の節目の会長職を拝命するにあたり、諸先輩方のご尽力と多くの皆様のご支援・ご協力に感謝すると共に、先輩方が一年一年積み上げてこられた福井YEGの歴史を受け止め振り返ると、常に事業を立ち上げながら、その念意（おもい）を地域に拡げていった歴史であったように感じます。

「足羽三山に桜を植えよう！」メンバーや企業だけでなく多くの市民から集めた浄財で桜を植栽。その思いは「桜ルネッサンス」「足羽河原桜堤の延命保存活動」、平成16年の豪雨災害から「桜のおはし」と変遷し、今では市民団体に引き継がれています。「駅裏とは呼ばせない！」というキャッチフレーズのもと3年間の約束で開催された「秋色ときめきハートランド」は現在地元地区の方々が秋のイベントとして実施されています。「自らの手で祭りを！」と始めたYOSAKOIイッチョライ。多くの市民が参加する祭りへ成長し、今では市民を中心としたNPOが役割を担っています。

そんな諸先輩方の意思を引き継いでか、仕事の厳しさや楽しさを子供達に伝える「お仕事探検隊アントレ・キッズ」ではメンバーだけでなく、PTAの保護者の方や地元企業の方々に講師を務めていただいたり、誇り溢れる地元を巡る「まち歩き」。ここでも地元の方や公民館の皆さんにコース作成やガイドをお願いしたりと拡がりを模索しております。このように当たり前のように事業を展開できるのも、そんな歴史に裏打ちされているのでしょう。

40周年記念事業では「先導力で結束!!」をテーマ

に事業を通じて「先導力」「結束」といったキーワードを織り込み、我々福井YEGメンバーだけでなく参加いただいた方々の今後の活動の一助になればと考えました。

基調講演では、講師を務めていただいた西村氏より「個人が社会を動かせる時代になった、その際に重要なのは、熱い念意（おもい）、熱源からの行動実績、それに留まらない周囲への波及力だ」ということ。続くパネルディスカッションでは、他方面で活躍されるパネラーの方々の意見交換を通して、矜持（きょうじ）を持つ重要性和「しっかりとした情報発信」「相手を知る力」「様々な団体との協働」といった3つのキーワードを見出すことができました。

青年部の指針「地域を支える青年経済人として先導者たる気概で研鑽に努めよう」から今年度のスローガンを「進むべき道を指し示せ！」としました。北の夜空に輝き旅人を導く北極星のように、メンバー一人ひとりが「何が求められ」「何ができ」「何をすべきか」を真剣に考えて取り組み、会全体としても今後の進むべき道を先導者となって指し示せるような一年にしたいと考え活動してきました。今年一年、また40周年記念事業で学んだ事を実践し、地域の為、福井の商工業発展の為、青年経済人としての向上の為、活動してくると信じております。次年度は「進化」の年。どのような進化を遂げるのかご期待いただければと思います。



40周年記念事業を終えて

実行委員長
山田 祐司



11月29日開催当日までの約1年間は本当に苦勞の連続でした。会場探しでは、福井中の大きな会場が希望日前後数週間まで全部抑えられていて愕然としました。ですが何とか11月29日の場所を抑えることに成功、菊会長の要望通りの日にはなりませんでしたが、終わってみてこの日に決定してよかったと今は思っています。（会長の要望した日は天気が…）40周年記念事業のテーマは「先導力で結束!!」ですが、このテーマに落ち着くまで約3か月かかりました。当初は福井YEGならではのテーマで委員会内は進んでいましたが、外に向けての発信力が弱く、何度も委員会メンバーの頭を悩ませました。月に何度会議をしたことか…、皆が「自分の妻よりあっている時間が長いよね」なんて言いながら、長い時間過ごしました。

そのおかげでテーマ自体が全員の中につかり根付き、当日の成功に導くことができましたのではないかと思います。

記念式典

式典班
達川 竜司

昨年4月に入会して、右も左もわからない中で40周年記念事業の式典班班長を任されて正直不安でいっぱいでした。式典進行の仕方や、当日御呼びする外部団体や県内外のYEGの方、諸先輩方の序列

などが分からずに、ほぼ毎日のようにメンバーで集まり、深夜遅くまで話し合いをする中々決まりませんでした。新入会員だけでは出来るのか不安でしたが、福井YEGの先輩方やOB・OGの協力のおかげで無事成功に終わる事が出来ました。

この事業のおかげで、YEGの沢山の方達と交流を持つ事も出来、交流委員会のメンバーとも絆を紡いだのではないかと思います。



記念フォーラム

フォーラム班
田中日奈子

初めて副委員長をさせて頂くことになった交流委員会、40周年記念事業を担当することになったと聞いた時は、本当に不安しかありませんでした。40年という歴史を踏まえて、これからの福井YEGの未来をどうテーマにするか?というフォーラムで、何度も頭から湯気が出そうに話し合い、他の委員会



メンバーや諸先輩の方々に助けて頂きながら、何とか基調講演とパネルディスカッションを行うことが出来ました。新入会員のメンバーで大きな周年事業を担当させて頂いたことは、自分達が思っていた以上に意味深いものだったと思います。本当に有り難うございました。

記念祝賀会

祝賀会班
社 直樹

入会してまだ半年程度と日も浅い中、40周年記念事業の祝賀会班の班長を任せていただきました。いざ始めてみると、祝賀会予算の割振り、会場の設え、企画内容の確定から準備、席次表の作成と決めることは多く、準備期間は少なくとても不安になりました。ですが、班員や委員会のメンバー、福井YEGの先輩方、OB・OGの皆様の

おかげで無事成功することが出来、ご参加いただいた方々からも良かったと言っていただけでした。この事業のおかげで、他委員会の方々や諸先輩方も交流を深めることが出来、交流委員会メンバーとも結束できました。とてもいい経験をさせて頂いたので、ありがとうございます。



4月度例会

4月定期総会に引き続き、4月度例会を開催しました。初めに菊会長の所信表明を踏まえた今年度への思いを挨拶して頂きました。続いて今回は県連三役である佐飛会長、福島専務理事、園会計にもご出席頂き佐飛会長よりご挨拶いただきました。

続いて各委員長がどのような思いをもって一年間活動していくのか所信表明として発表致しました。菊会長の思いを受けての委員長の覚悟を聞くことができました。

まずはビジネス向上委員会の今井委員長。

「どうしたらビジネス向上するか？」をスローガンにかかげ「進むべき道」を示し「ビジネス促進」と「自己研鑽の場」の提供することを提言。また、過去に行ってきたビジネス系の例会も参考により良い形に発展、進化させていく模様。

2番目は、キャリアサミット委員会の中川委員長。

「愛と情熱（ラブ&ピース）を持ち続ける」をスローガンにかかげアントレ・キッズ事業はもちろん他団体との協働によるキャリア教育事業を行うことを提言。

3番目は、誇り溢れる地域（まち）づくり委員会の柴田委員長。

「プラス」をスローガンにかかげ市民が地域に誇りをもって暮らし、魅力を発信できるようにプラスの気持ちを持ち、郷土の魅力を掘り起こすことを提言。

4番目は、交流委員会の山田委員長。

「つなげよう交流を通じての福井YEG全員の輪」をスローガンにかかげ、あじさい会と通年で交流することや、5年後10年後に今年の新入会員全員が福井YEGの前衛で活躍することを提言。

最後は総務・渉外委員会の天野委員長。

「行動をもって想いを伝える」をスローガンにかかげ、委員



会メンバーの事業への積極的な参加や、他委員会事業であっても活動方針を行う上で必要であれば共に活動することや、会員の事業出席率の上昇を提言。

続いて、平成25年度事業考査室の松田室長から表彰があり、新人賞に大村亮輔君、委員会賞に資質向上委員会、最優秀個人賞に玉村訓大君がそれぞれ受賞いたしました。

「お堀の桜舟」福井城址まち歩き

4月6日（日）福井城址において昨年度のまち・ひと活性化委員会と今年度誇り溢れる地域（まち）づくり委員会合同の「お堀の桜舟」「福井城址まち歩き」を開催しました。

当日はあいにくの天候にも関わらず、事前にご予約いただいた皆さんに、まち歩きにご参加頂きました。まち歩きでは、福井城址の説明見学・説明の他、近郊の商工業をまわり、落語を楽しんだりもしました。

お堀の桜舟では、お堀の中から桜を見ながら、お堀の歴史に関する説明をYEGメンバーが行いました。また、御廊下橋上では、桜の枝を活用したペン作りのワークショップの他、桜にのせて贈る手紙の展示も行い、春の訪れを楽しみました。



県連代議員総会

5月17日（土）、鯖江で開催された県連代議員総会に参加しました。

福井県商工会議所青年部連合会

佐飛会長のご挨拶、鯖江YEG岡田

会長のご挨拶、そして来賓の皆様

のご挨拶をいただき開幕しました。

上程されたすべての議案が満場の拍

手をもって可決承認されました。

続いて研修会1部「若手経営者の

主張」が開催され、福井単会からは

山岸君が熱い想いを主張しました。

研修会第2部では株式会社なが

すぎ 代表取締役 永杉宏之氏によ

る講演会が行われました。人と接す

る事の大切さ、そして経営する事の

重みを考えさせられるご講演内容で

大変勉強になりました。

研修会の後は、場所をサバエシ

ティーホテルに移して大懇親会が行

われました。楽しい催しもあり、ま

た他単会の仲間とのふれあいもあ

り、本日に有意義な時間を過ごさせ

ていただきました。懇親会の中で福

井YEG菊会長より大きな目標も聞

く事ができ大変爽やかな会となりま

した。



5月度例会「ビジネスプレゼン例会」

5月28日（水）19時より、福井商工会議所地下国際ホールにて5月度例会「ビジネスプレゼン例会」が開催されました。今回の例会のテーマは「進むべき道」心動かすプレゼンを指し示せ」とし、12名の会員に3分間で自社の商品やサービスを分かり易くプレゼンしてもらいました。

3分間というプレゼン時間は、話す側にとっては非常に短く感じる時間です。会社概要も含めた説明をしようとするとても時間が足りません。ただ、話を聞く側にとっては、人の話を集中して聴ける時間の限度が3分程度といわれており、

ビジネスの場では、複雑な商品やサービスの仕組みやメリットデメリットなどを短い時間で分かり易く伝えるというスキルは非常に重要です。
 パワーポイントを使ったプレゼンが中心でしたが、やはり3分という時間の調整は難しく、時間切れで最後までプレゼンが出来ない会員もいました。それでも時間を有効に使ってきっちり3分で心を動かすようなプレゼンを見せてくれた会員も多かったです。

心を動かすプレゼンがあった場合は見ている会員が「取引札」を上げるというルールで進行し、またプレゼンの評価シートも1人1枚ずつ書いてもらうことで、プレゼンをした本人にフィードバックをしました。

プレゼンを見た人の感想に、「プレゼンでは技術よりも伝えようという思いが大事」と分かった、というものもあり、3分間で熱い思いが伝わるプレゼンもありました。

また、親しい会員同士であっても、「具体的にどんな仕事をしているかはプレゼンを見て初めて分かった」という感想や、「〇〇さんの仕事に興味が出た」という意見もあり、このプレゼンをきっかけに少しでもビジネス促進に繋がってもらえればと思います。

最後は「取引札」の上がった数が少ない3人に「がんばりま賞」としてプレゼンに関わる本やDVDを贈呈して本例会を終了しました。

今後、ビジネス向上委員会が企画する例会では、この3分プレゼンを各会3人ほど実施していき、プレゼンをする方見の方の双方のレベルアップを図っていきたいと思います。

アントレ・キッズ in 木田小学校

6月19日（木）に木田小学校でアントレ・キッズが開催されました。

8名の内3名は初めてのアントレ・キッズということでしたが、堂々と子供達に仕事の大切さ、働くことの素晴らしさを溢れんばかりの情熱（パッション）を持ってお話していただきました。本当に素晴らしかったと思います。

一度以上経験済みの5名は前回行ったものよりさらにレベルUPした内容で子供達を引き付けていました。大変頼もしく思えました。

子供たちのリアルな反応を見ることのできるアントレ・キッズ事業。今回の木田小学校のほとんどの子供達は目を輝かせていたように思います。もちろん周りで参観していた親御さんや先生達も同じように関心していました。それだけ講師されたみなさんの授業が大変素晴らしかったからだと感じ

ます。
 今回のアントレ・キッズが木田小の子供達に何らかの気づきを与え、これからの将来に向け行動していく一つのきっかけになってくれる事を願っています。



6月度例会 リスクマネジメント例会

6月25日（水）19時より、福井商工会議所地下国際ホールにて6月度例会「リスクマネジメント例会」が開催されました。

今回の例会のテーマは「進むべき道へ企業防衛意識の向上を指し示せ」とし、実際に企業を経営していく中で身近に起きるクレームやトラブル事例を参考に、専門家の見識を交えながら、企業リスクに備える心構えを養うことを目的とする例会としました。

本例会は主に法務、税務、労務、財務、不動産、と5つの専門分野に沿ったトラブル等の事例をスライドで紹介し、会員に考察してもらった後、弁護士、税理士、公認会計士、中小企業診断士、社会保険労務士、不動産鑑定士といった士業のメンバーが各2名ずつそれぞれの見解を述べていくといった手順で進行しました。

あの「半沢直樹」をモチーフとした企業ストーリーからトラブル事例を紹介し、原則としてA、B2つの選択肢を準備し、会員に分かれてもらった後に専門家がそれぞれの意見を主張します。

お互いが全く違う意見を言い合っているのですが、どちらの意見も根拠がしっかりしており説得力があり



ました。企業経営で起こりうる問題はAかBか簡単に白黒つけられるようなものではないということがこういったことから分かります。

皆さん第一線で活躍されているプロでありながら分かり易い言葉で解説され、それぞれの課題について勉強することが出来ました。あらためてYEGメンバーのレベルの高さが再認識できたのではないかと思います。

三地区研修交流事業 7月合同例会

7月12日（土）に福井YEGが主管となり鯖江YEGさんをお招きして、三地区研修交流事業を開催しました。

まず第一部は、キャリア教育について合同研修を行いました。鯖江YEGでの事業「ものづくりクエスト」について、小林さんに発表して頂いた後、「キャリア教育とは？」について高木監事よりお話しして頂きました。

次に、福井YEGでの事業「アントレ・キッズ」について村上さんより発表があり、その後、各テーブル毎のディスカッションに入りました。

テーブルディスカッションでは、鯖江YEGメンバーの方々を題材にしたアントレ・キッズの企画について話し合い、最後に企画発表して頂きました。

次に第二部として交流会に移り、ディスカッションを行った同じテーブルのメンバーで、クイズを行いました。クイズは、鯖江と福井に其々まつわる問題から、鯖江・福井両会長、県連会長や両メンバーを巻き込み、体を張って頂く内容で楽しんで頂きました。

キャリアサミット委員会さんとの合同事業で、新入会員の交流委員会としては不慣れな事も多く、前日リハーサル段階でも菊会長から様々な指摘を頂きながら正直ヒヤヒヤでしたが、何とか無事に終えることが出来ました。



教職員向けアントレ・キッズ

市教職員研究大会が7月26日(土)に福井県生活学習館 ユーアイ福井で開催され、その中の分科会においてアントレ・キッズが行われました。

普段は小学生5・6年生に行うアントレ・キッズですが、今回は教えるプロの先生方に対してのアントレ・キッズとなりました。実は昨年先生方に対して実施して、それが好評だったので今年も声が掛かりました。

今回の講師は3人、天たつの天野準一君、フローンケサスの佐藤宏隆君、中川鉄工の中川知土君でした。まず、会長の挨拶から始まり、続いて清水副委員長のアントレ・キッズの説明がありました。

非常に分かりやすく先生方一人一人に伝わっていたように思います。その後、3つの会議室に分かれ、それぞれのアントレ・キッズを行いました。

終了後にもっとこうしたいほうが子供達に伝わりやすいなどのアドバイスや、書いてもらったアンケートには、自分の学校でもアントレ・キッズをしたいという意見も出てきていました。非常に実りあるアントレ・キッズ事業だったと感じております。



お堀の灯り事業

7月19日(土)に福井城址周辺で開催された「福井城址お堀の灯り」に参加し、当青年部としてエリアの一部を運営しました。この事業は、福井城築城以来の往時の趣を偲ぶとともに空襲や震災で亡くなった人々を鎮魂し、まちづくりの推進を目指す市民ぐるみの事業で今年で4回目を迎えます。過去の開催でも当青年部は、準備作業や当日運営における人員派遣等の協力を行ってきましたが、今回初めて単独で事業エリアの一部を運営し、これまで事業が行われていなかったお堀東

側エリアで新たな取組みを展開しました。

その1つが『お堀の灯り語り部』の設置で、地元住民の方に語り部役をお願いし、地域住民や企業をはじめとした来場者に、事業の経緯を含め、実体験に基づいた震災や空襲当時の様子を語り継ぐ事を目的にご紹介頂きました。また、これまで会場を見渡せる見学スポットが無かったため、福井城内堀公園に特別観覧席を設置し、多くの方にライトアップ

の幻想的な風景を楽しんで頂きました。その他、震災や戦災を経験した方に、次代へ語り継ぎたい願いを短冊に書いて頂き、短冊灯りの製作を依頼し、それを城址公園内の灯りとして設置する等お堀西側エリアとは雰囲気を変えた演出を行いました。

今回、当青年部が企画したこと地域のみならず事業の拡充に寄与することができ、また準備を含めた活動の中で地域住民や他団体との関係を構築することができました。この経験や関係を今後の青年部事業に繋げていきたいと思っております。



第61回福井フェニックスまつり

8月2日(土)に開催された「第61回福井フェニックスまつり」民謡・YOSAKOIイッチョライ」に、当青年部の自主企画運営で参加し、まつり全体を盛り上げました。

今年新たな試みとして、子どもが参加できるまつりを目指して『子どもみこし』を企画。市内幼稚園・保育園等にご参加いただき、7基の子どもみこしを繰り出し、約70名の可愛い子どもたちが凛々しくみこしを担ぎ、大人が担ぐ商工みこしのコラボレーションが実現しました。青年部メンバーもまつり運営の合間をぬって商工みこしを担ぎ、まつり参加者と共に躍動しました。

また、昨年に引き続き佐佳枝廻社境内をお借りして、『1000人の子ども風鈴プロジェクト』と銘打って、市内の子どもが祭りをテーマに書いた言葉や絵の短冊が付いた風鈴1000個を設置し、涼と賑わいを演出しました。その他、境内で『YEG緑日』と称し、まつり来場者や風鈴見物の園児ファミリーの滞留・遊びの場として、射的などのアトラクションを実施したり、参道をLEDキャンドルなどでライトアップし、幻想的なBGMで、まつりの賑やかな空間とは異なった情緒的な雰囲気を出しました。



これまでフェニックスまつりにおいて、青年部の先輩方が提案した「YOSAKOIイッチョライ」等は、市民参加の輪を広げた「先導力」となって今に受け継がれています。今年の子どもみこしの企画は、多くの市民が世代を問わず参加しやすいまつりを目指したいとの思いから生まれました。今年も私たち青年部が「先導力」を発揮して「市民が参加しやすい夏まつり」「市民の心に刻む夏まつり」を提案し、市民に愛されるまつりにしていきたいと思っております。

えきまえアントレ・キッズ

2014

8月23日(土)にふくい市の中心市街地でえきまえアントレ・キッズ2014が開催されました。

まちづくり福井(株)さんと共催事業として行っていて、今年で7回目を迎えました。毎年大変人気のある事業で、今年もたくさんの子ども達が参加していただきました。

中心市街地にある実際の企業店舗で職業体験を通じて、仕事の厳しさや働くことの素晴らしさ、仕事のやりがいや誇りに気づいてもらい、子ども達が自ら夢に向かって進んでほしいと願う事業であるとともに、えきまえ商店街の活性化にもつながる事業となります。

今年には学生ボランティア参加者の受け入れを行い運営支援のお手伝いをお願いする中で、ボランティア参加者にキャリア教育の理解と気づきを得てもらい、継続的かつ安定的なサポート体制の実現を図っていくという新たな試みを行いました。13名のボランティアのみなさんは自分の役割以上の働きをしていただき、逆に我々が勉強になった所もありました。本当に素晴らしい学生さん達でした。

さらに県外からの視察の方々も多く視られ、えきまえアントレ・キッズの素晴らしさに感動されていました。今後ますます発展していく為にも新たなチャレンジをして

いかなくはと考えると、丸一日かけてのえきまえアントレ・キッズとなりましたが、トラブルもなく無事に成功で終わる事が出来ました。



目を輝かせて体験している子ども達
マナー講師も大好評!!

ふくい健康の森で秋のスポーツ レクリエーション&交流BBQ

9月21日(日)に、「秋のスポーツレクリエーション&交流BBQ」を行いました。
この事業は、福井YEG会員同士の結束を高めるために行われました。YEG会員の家族も参加可能でしたので、当日は、会員の奥様やお子さんもたくさん参加していただきました。



まず、午前中は、スポーツレクリエーションを行いました。「委員会対抗運動会」として、福井YEGの各委員会別に5つのチームを作り、7種の競技を楽しみました。見事、優勝したチームは総務・渉外委員会チームでした。優勝賞品として高級酒を見事GETしました。
昼食は、スポーツで競い合った労をねぎらいながら、BBQによる交流を行いました。YEG会員には、焼肉屋や酒店

を行う会員がおります。そのため、とても美味しい和牛やお酒が提供していただきました。流しそうめんも行いましたが、これはお子様たちに大人気でした。
家族も含めた会員交流で、わいわい盛り上がるよい企画になったと思います。会員同士で高めた結束を今後のYEG活動にぜひ活かしていきましょう。

9月度オープン例会「日本経営 品質賞受賞企業に学ぶ経営革新」

9月24日(水)に福井商工会議所コンベンションホールにて、9月度オープン例会「日本経営品質賞受賞企業に学ぶ経営革新」を開催しました。

2012年度日本経営品質賞 大規模部門受賞された『福井県済生会病院』の副院長・診療部長・経営戦略室室長 登谷 大輔先生をお招きし、「患者さんの立場で考える」福井県済生会病院の経営」をテーマにご講演いただきました。

プレない経営姿勢や理念を浸透させ実践に移すための仕組みについて具体的にお話しいただきました。また、経営陣職員、医師が「患者さんの立場で考える」を徹底するための話し合える機会を場を作ったり、働くことの原点や働き甲斐を大事にする対話の仕組みなどのお話をいただき、さすがだなーと感心してしまいました。

理念を実践し表彰された職員はリッツカールトンホテルに招待され、一流のサービスを体験することで、自分たちのサービスを見直す機会となつており、職員満足度の向上に向けた取り組みが自分磨きにもつなげており、またまた素晴らしいと感じました。感心するばかりです。

呑みにケーションは昔から活発に行われていると：ここは納得です。

今回は「日本経営品質賞受賞企業の経営革新事例を学び、会員企業の経営革新や組織経営を考える事で、地域経済の発



登谷 大輔 先生



多くの来場、ありがとうございました。

展に貢献出来る企業経営を目指す」ことを目的に開催しました。SWOT、BSC、ワークアウトなどの手法も参考になりましたが、理念を徹底して実行できる組織力が「病院満足度ポイント」で全国トップレベル水準を維持するとともに、従業員意識調査でも全国トップレベルの結果につながっているのだと改めて感じた講演でした。

第32回近畿ブロック大会 箕面大会

10月4日(土)に、大阪府箕面市で開催された「第32回近畿ブロック大会あふさか箕面大会」に参加してきました。

箕面大会は参加登録者が2,003名と近畿ブロック大会では、過去最大の登録者となったこともあり、開会式から活気であふれていました!



分科会で学んだあとは、恒例の大懇親会です。今回は箕面の夜景を一望できる「スカイアリーナ」という会場で開催されました。躍動感溢れるオープニングアトラクションに始まり、今後開催される各種大会のPRと、地域を越えたメンバー同士の交流も進む中で、楽しく賑やかなひと時を過ごすことができました。

近畿ブロック大会、そして全国大会は県外のYEGメンバーと交流できる貴重な機会です。そしてなによりもふだん一緒に活動をしている同じ福井YEGメンバーと長い時間共に過ごし、新たな一面を発見し、より深いきずなで結ばれる大変良い機会です。

来年もぜひ多くの福井YEGメンバーで参加しましょう!

10月度事業 歩くぞ福井まち歩き

10月11日(土) 秋晴れ?の中 10月度事業「歩くぞふくいまち歩きの日」を、昨年引き続き開催しました!

今回は

- ・地域の若者が地域の魅力を継承しガイドを務める「東郷コース」
- ・ふく十さん、きちづくり福井さんの協力を得て「親子を中

心に駅西の地下と屋上を巡る。「駅西コース」
 ・福井市との協力で、「これからまち歩きを始める、まち歩きをもっと勉強したい方」を対象とした「セミナーコース」の3つにわけて実施しました。

東郷コースでは、ガイド役を地域の若者が中心となり、自分が住む地域について語り部さんから事前に勉強し、ガイドを行いました。それにより、メインガイド以外の若者もガイド役のKさんをフォローすることで若者同士が地域の魅力を改めて勉強しました。さらに、足りない部分を地域の語り部さんや他の大人たちがフォローするなど地域の皆さんと共に作り上げた内容となりました。

参加者の皆さんからも、「東郷地区の裏道にはこんな神社があるのか!」「若者がメインガイドを務める事が新鮮でまた、地域で協力しあってガイドしている姿がよかった」など満足なご意見を頂けました。

足羽セミナーコースは、福井市との協働で、16名の参加者を対象にまち歩きセミナー及び、YEGメンバーによるお手本コース「足羽地区まち歩き」を行いました。

セミナーの参加者の半分は福井市内公民館の理事さんと、まさにこれからまち歩きをはじめ地域の公民館の方もいらっしゃるいました。

まち歩き自体は、「今昔物語」と題し、古地図と現在の地図を照らし合わせ、地元の「山庄商店さん」「鯛金餅店さん」「愛宕坂」「橘曙寛記念文学館」「西光寺さん」などを巡るという新たな試みにもチャレンジしました。

まち歩き事業を開始して5年目の本年、地域の若者との協働や行政との協働等、新たなチャレンジを行った本事業ですが、どのコースも参加者にご満足いただけただようで良かったと思います。

今回のチャレンジを次のまち歩き事業や福井の観光・情報発信に活かせるよう取り組んでいきます。

本事業にご協力いただきました、東郷地区の皆様、駅西地区の皆様、足羽地区の皆様そして、YEGメンバーの皆様、ありがとうございました。



10月度例会「個性心理学を仕事に活かす」
 ～相手を活かす接し方、攻め方を指示せよ～

10月22日(水) 福井商工会議所 地下国際ホールにて、10月度例会「個性心理学を仕事に活かす」～相手を活かす接し方、攻め方を指示せよ～を開催しました。

例会をコーディネートして下さったのは、ブルデンシャル生命保険株式会社 福井支社 支社長の窪田憲人氏。仕事を通じてビジネススマンとして、とても大切な要素には、印象力、コミュニケーション力、商談力があります。人材育成にスポットを当て、社員や部下に、働く意義をどう与えるか。やる気にさせるにはどう接するか。そんな方法論を講義して頂きました。

講師の方から、まずは、会員全員に投げかけ。「皆さんは、何の為に仕事をしていますか?何故、その仕事をしていますか?」

なかなか普段考えない事、しかし、とても大切な事をスバリ。自身の中に持つべきM・V・P。

M(ミッション)・・・何の為に仕事をしていますか?何故、その仕事をしていますか?
 V(ビジョン)・・・自分はどうなりたいのか?
 P(パッション)・・・情熱を持って打ち込んでいるか?

改めて考えるこの壮大なテーマ。講師は、敢えてそこで、会員に考えてもらう時間を取り、会員はこのM・V・Pについて、自分と向き合い、ペンを走らせていました。

そこから、例会がスタート。

印象力、コミュニケーション力の大切さとして、メラビアンの法則や鏡の法則を伝え、客観的に自分を観察してみると、「なるほど」「明日からやってみよう!」と思った会員も多くいたのではないのでしょうか。



ス ↓ WEのスタンスは、人を誉めた時に伝わる相手の感じ方を学びました。
 相づちの「さしすせそ」では、相手の会話に対する相づちで、伝わる相手の感じ方。「最高ですね!素晴らしい!」
 途中、ワーク形式で、隣席の会員同士、実際に誉める練習をしました。実際に体感できたのではないのでしょうか。
 最後に、個性心理学を用いた、人との接し方。相手が分かれば、接し方が見えてくる。(知ってるのと知らないのとでは大きく違いました。)

終始、楽しく例会が進み、多くの学びがありました。

ふくいキャリア教育
 フォーラム2014

11月8日(土)に、福井県立大学を会場として『ふくいキャリア教育フォーラム2014』を開催しました。

当フォーラムは、平成23年から毎年開催され、福井県内でキャリア教育に取り組む団体等(福井商工会議所青年部、(公社)福井青年会議所、福井県経済同友会、福井市PTA連合会(公社)福井法人会、福井県経営者協会、福井市教育委員会)で実行委員会を組織し、先進的に活動している経済界と行政及び教育機関、そして保護者団体等との協働によるさらなるキャリア教育の推進に向けて議論や情報発信を行っています。

4回目を迎える今回は、もっとキャリア教育を知ってもらいたい、もっと広げていきたいという強い思いで企画してきました。基調講演を始め、各団体を取り組むキャリア教育プログラムの「発表・実演」を新たにに加え、参加者にキャリア教育の現場を直接見て感じてもらう、その後、ディスカッションで今後のふくいのキャリア教育について話合う企画となりました。

当日は、企業経営者、教職員、保護者等約200名にご参加いただき、非常に内容の濃いフォーラムとなりました。福



エンゼルキャラバン(福井県児童科学館)



アントレ・キッズ(福井商工会議所青年部)



スーパーグローバルハイスクール
(福井経済同友会)

井県立春江工業高校教諭の川村忠義野球部監督による基調講演では、当校を甲子園出場に導いた教育手法等についてお話いただきました。生徒の中から複数のリーダーを発掘し、そのやる気を引き出す日々のコミュニケーションにより、リーダーを中心とした自主的な活動に結び付けている点は、経営者目線での取り組みでもあり、組織を動かす手法として大変参考になりました。個人的な意見ですが、本当に面白く、楽しく、1時間半という時間を忘れてしまうぐらい、素晴らしい特別講演だったと思います。

また、各団体のキャリア教育プログラムの実演では、参加した子供たちが仕事の現場を実体験して感動し、その様子を見学していた参加者も体験プログラムの内容について感心していた様子でした。

最後の円卓ディスカッション「キャリア教育サミットVol.1」では、実行委員会メンバーの経済団体や国、福井県、福井市の教育行政関係者、他地域でキャリア教育を推進している団体が、幼児からの一貫した『ふくい型キャリア教育プログラム』の構築に向けて何をすべきかを議論しました。その中の文部科学省の長田徹氏(初等中等教育局教科調査官)による青森や仙台の先進事例を交えたキャリア教育の取り組み紹介は、私たちの今後の活動の参考になるものでした。また、沖繩でキャリア教育に取り組む沖繩キャリア教育支援ネットワークオーション21代表の翁長有希氏は、「福井における個々のキャリア教育の取り組みはレベルが高く、それを生かしていくためにも、個々の取り組みを繋ぐブランドデザインを描ける組織が必要」と指摘しました。

翁長氏がおっしゃっていました。「関係者がお互いの理解をより深めることが『ふくい型キャリア教育プログラム』構築の近道」だと。これは今後の我々にとって非常に大きなヒントになっているのだと感じました。

今回のフォーラムは通過点にしか過ぎません。これからがもっと大変になってくるのだと感じております。「ふくい型キャリア教育プログラム」を実現するために、もっともっと突っ走っていく必要があります。決して他人事ではありません。大人一人一人が真剣に考える時です。「地方創生」に向け、明るいふくいを描きながらキャリア教育をもっと推進していきます。

アントレ・キッズ in 鷺小学校

11月13日(木)に鷺小学校でアントレ・キッズが開催されました。4人の講師は何回かアントレ・キッズの講師を経験され、非常に頼もしく思えた授業内容だったかと思えます。子ども達のハートをすぐに奪い、各人のペースに引き込まれ、子ども達を引きつけていました。福井で誇りを持って仕事している我々が、熱く真剣に語ることににより、福井の大人達、企業、地域を好きになってくれる子供達が増えてくるのだと信じています。だからこそアントレ・キッズが各地域で必要になってきます。今後もアントレ・キッズは続いていきます。鷺小学校のみならず、ありがとうございました。



第32回全国会長研修会 四季食彩の都 しばた会議

平成24年11月14日、15日の2日間新潟県新発田市にて行われました第32回全国会長研修会「四季食彩の都 しばた会議」に出席しました。1日目であります11月14日は会員総会が行われ次年度の日本YEGGの組織の発表などがありました。その後次年度日本YEGG会長の所信表明がおこなわれました。地域や、日本をよくしていきたいという想いのこもった



言葉に改めて背筋の伸びる思いがしました。夜には大懇親会が開催され他県のYEGメンバーの皆さんとの交流を深めることができました。二次会は福井県のYEG7単会(鯖江、武生、敦賀、小浜、大野、勝山、福井)の今年度会長、次年度会長予定者、日本YEG出向理事が集まり福井県内のメンバーの交流を深めました。2日目は今年度会長、次年度会長予定者、事務局、などそれぞれの立場ごとに分かれ分科会が行われました。分科会後には閉会式が行われ2日間の研修会に幕を下ろしました。

11月度例会 創立40周年記念事業

記念式典では、2部構成で、第1部では通常行われる式典を行い、第2部では歴代会長の方々に現役メンバーから感謝状を贈る、福井YEG全員で参加者全員に対してお礼の意を告げるなど行いました。

記念フォーラムでは、こちらも2部構成で行われ、第1部基調講演では株式会社オールアバウト西村俊彦氏による「個人の熱を起点にムーブメントをつくりだす」インターネットと団体を活用したソーシャルムーブメントモデルの紹介をテーマに講演を行いました。

第2部パネルディスカッションでは「先導力で結束!!」をテーマに、パネラー・講師の西村さんを含め、サウルコス福井 佐野様、インターナショナルクラブ 山下様、福井YEG 菊会長、コーディネイターとして福井街角放送 鳴尾様によりまず公開討論会を行いました。各パネラーには4つの質問に熱い思いで答えていただき、最後に菊会長による福井YEGの今後の方向性をもつて締めさせていただきました。記念祝賀会では、明新森組様によるOP演舞、鏡開き、福



井人格付けチェック、白井敦夫様によるジャズ演奏と行い、食事については会議所8階S O R A O T O様の料理に付け加え、福井Y E Gメンバーによる出店ブースで福井の幸を提供させていただきました。最後には白井敦夫様先頭に協動アトラクション・トレーニングダンスを行い、一人また一人と繋がっていき最後には会場地下コンベンションホール内で収まりきらないぐらゐの協働の輪が出来上がり、全員が熱が冷めないまま閉会となりました。

オフシャル2次会では、総務・渉外委員会が中心となり、フラッシュモブで会場を沸かせ、アンコール後には会場全員が一体となって踊っていました。今回の事業で福井Y E G 40年の歴史を振り返り、これからは新たな目標を持って地域活性・豊かな郷土づくりに全員が同じ志を持って取り組んでいきましょう。
〔全総力で結束!!〕



12月定期総会

12月17日(水)に福井商工会議所 国際ホールにて平成26年度12月定期総会が開催されました。菊会長からは「ちようど一年前にこの場で基本方針を発表したことが感慨深い」とのご挨拶がありました。定期総会は北出副会長による議事進行の元、審議が執り行われ、基本方針の審議を終えた森下会長予定者より3点述べられました。



①成長
ひとりの熱い思いが、周りの人を動かし、事業が具現化する。やりきることによって自分が成長し、その積み重ねでより多くの人が成長を実感できる一年にしたい。企業の発展、地域の発展につなげていこう。

②まじわり
数年ぶりに事業に参加してくれた仲間がいた。久しぶりに話をしていると、「手書きのはがきで参加案内が送られてきた。参加せずにはいられなくなって参加した。」そう話してくれた。そして、その仲間のポケットには手書きのはがきが入っていた。まさしく、想いと想い、心と心がまじわりあって生まれた行動。各委員会が一生懸命構築した事業へその思いを感じながら参加することが大切。行動で交わる一年にしよう。

③進化
進化とは、より環境に適応した状態への変化。いつもと同じ事を繰り返す作業の中に進化は生まれない。私たちが求められていることも、社会の環境も変化する。環境に柔軟に対応していこう。今ある事業は、一歩前へ、何もないとどこにも可能性を感じれば新たな一歩を踏み出す。そんな一年にしていこう。

最後にご自身が「サラリーマン」であることにも触れられました。
サラリーマンであっても熱い気持ちで一年間成し遂げたい。「俺も私もやってみよう」「委員長、県連、会長を目指してみよう」このように熱い仲間が生まれることを願う。基本方針だけでなくこの言葉も私には強く印象に残りました。今までにない新たな風を次年度に向け予感させる、強い気持ちのこもった言葉で締めくくられました。
続けて菊会長より次年度に日本Y E Gへ出向する天野準一君と朝田健一君が紹介され、両者より「日本に福井を伝える」、「日本を福井に持ち帰る」といった意気込みの言葉がありました。

まち歩き普及セミナー

1月21日(水) 18時30分より福井商工会議所において、誇り溢れる地域づくり委員が担当する「まち歩き普及セミナー」地域に愛を・地域に誇りを」を開催しました。
各地域の宝や魅力を発見し、それらを地元の方に伝えて広め、継承し地域の発展を促す。
また、地域内外への発信方法の一つのツールである、まち歩き開催につなげることを目的として企画いたしました。

まずはまち歩きの意義目的を説明し、次に昨年10月に開催されました合同まち歩き事業を福井Y E Gと共同開催して思った事や、感じた事を東郷ふるさとおこし協議会(北川様)にお話しいただきました。我が地域の行事に積極的に若い方が参加している事や行事の内容についてお話しいただきました。

次に地域住民の方に我が地域に誇りを持つ事の大事さをファミリーウォークという形で伝え続けている啓蒙公民館(野路館長様)にお話しいただきました。
実際に活動されているお話や、小学校とタイアップして行っている事はとてもためになる話でした。
次にこれまでの活動や、各地域の自慢(誇りや宝)を話していただき地元の誇りを再認識していただくためにグループワークを開催しました。

まち歩き開催経験のある団体の方は、開催経験を話していただきまち歩き開催未経験の団体の方には参考になりました。みなさん我が地域の誇りを再確認するグループワークでした。
アンケート結果を見ますと、歴史散策等を含めまち歩きを今後開催したいと言う団体の方がたくさんおられました。これも参加されたみなさんが、地域の誇りを改めて考え、発表しただけではないでしょうか。反省点も多々ありますが、このような声を頂いたことにより一定の成果はあったと考えております。



1月度例会 ファシリテーション例会

1月28日(水)福井商工会議所地下国際ホールにて1月度例会を開催しました。
会長挨拶から始まり、新入会員紹介では(株)米五の多田健太郎君が入会挨拶を行いました。
今例会のテーマは「ファシリテーション」
進むべき道「皆の能力を引出しゴールへ導く力を指し示せ」とし、会議運営・合意形成・部下指導など、業務の幅広い領域で活用するための能力であるファシリテーションとは何か

について学びました。

講師はプロフアシリテーターとして各所で活躍されている富永良史先生をお招きし、話し合いの場で、「違いを活かし、ゴールを目指す」ことの大切さをグループワークを通じて学びました。

話し合いには必ずプロセスがあり、フアシリテーターは、ひとりひとりの意見を汲み取りながら、話し合いのプロセスを追っていく。

フアシリテーターはただの進行役ではない。プログラムどおりに、機械的に進めることを良しとせず、出された意見を安易に排除しないで、傾聴し、もっと良い意見を引き出す。

ただし、傾聴しすぎてのめりこまずに、これを頭半分で見ながら、残りの半分では、冷静に次のプロセスをイメージする。

話し合いの結論は「よし！やろうぜ！」と参加者全員が感じ、目的を共有すること
 ・・・・このようなことを体験を通して学ぶことができ、非常に有意義な例会となりました。



第34回全国大会京都大会

平成26年度全国大会が平成27年2月21日に開催されました。2月21日出発組は朝6時台の電車に乗って福井を出発し、京都に8時ごろに到着し、全国大会式典に出席すべく会場であるみやこメッセへ向かいました。

粛々と式典が行われ、30分ほど押した形で無事終了しました。



その後記念撮影を行い、講演会に参加をしました。

今回「永遠のゼロ」「海賊と呼ばれた男」などの著者百田尚樹さんが講演をされました。

お題は「日本の懐（こころ）」。

執筆された時の考えや想いを話されたのですが大変印象深かったのは「なぜこの本を書いたのか」と今の若い形に戦時中に日本に何があったのか、日本にはこんな英雄がいたということをお話されたからとおっしゃっていました。

それが百田さんの日本のためにできることだと。

日本のために、地域のために何ができるか改めて考えさせられました。

その後は各人分科会に参加をし、大懇親会では干支ごとのテーブルに分かれて他単会のメンバーと大いに交流しました。

20時30分から開催されました卒業生のためのイベントは単会より今年度卒業予定の宇佐美君が登壇をされて皆様とお見送りすることができました。

今回も大変勉強をさせていただきました、そして大いに会員同士の交流が生まれたのではないかと思います。



2月度例会 印象力を上げるプレゼンテーション例会

2月25日水福井商工会議所地下国際ホールにて2月度例会を開催しました。

例会のテーマは「印象力を上げるプレゼンテーション」進むべき道「心を動かすプレゼンを指し示せ」とし、私たちのプレゼンテーションに足りない要素である基礎・表現の仕方・話の組み立て方・相手に印象つけるコツを中心に、実践を交えながら学びました。

今回の講師はアナウンサーとして各所で活躍されている谷川有希乃先生です。

最初に恒例の3分間ビジネスプレゼンを交流委員会より朝日君、多田君、佐藤君、松井君の4名が発表。講師より立ち方、声の出し方、目線の送り方のポイントなど貴重なご意見を頂きました。

本題の研修では、プレゼンテーションはコミュニケーションである説明を受け、まずは自分の性格を知ることから始まり、基本姿勢を実践。グループワークでは「印象力」個を表現する力ことを実践

を通じて学びました。

伝える側に・1理解・2共感・3わくわく感を与える

話す側は・1相手目線・2デモンションUP・3ボディランゲージを意識する

内容は・1結十起承転結の順・2問いかけ・3反復を盛込む・このようなことを心がけ相手の心に入ること体験を通して学ぶことができました。

福井県連代議員総会並びに福井県連30周年事業

平成27年2月28日に大野にあります結ステーションにて代議員総会並びに福井県連30周年事業が執り行われました。

まず会長、副会長、委員長、県連役員からなる代議員メンバーだけで代議員総会に出席をしました。

ここで平成27年度の福井県連役員人事が決議され次年度宇野県連会長と日本YEG福井県連代表理事の役を拝命いたしました私天野準一が所信を表明いたしました。

続きまして30周年記念式典が執り行われ、各方面からたくさんのご祝辞をいただきました。

続いて記念講演会で福井銀行伊藤頭取にご講演をいただき福井の現状、そして福井の持つ課題などのお話をいただきました。

最後に記念懇親会が催され各単会地域の特色ある美味しい食べ物を持ち寄り懇親会の食事と一緒に美味しくいただきました。

今回、こうしたしつらえをいただきました大野単会の皆さんに、そして福井県連の皆さんに心よりお礼申し上げますとともに、これからの福井県連を皆で盛り上げていきたいと改めて思いました。



卒業生の言葉



宇佐美嘉一

福井Y E Gの歴史の半分をともに
僕が入会したのは福井Y E G 20周年の年！そして定年延長を続けた僕が卒業を決定した今年度は40周年。つまり福井Y E Gの歴史の半分をともに歩ませてもらった事になる。いや〜マジで長かった！この原稿に書ききれないくらい、泣き笑いあり！多くの人との出会いあり！苦業も多数！思い入れの深い事業も昨日の事のように思い出されます。

どもり症だった僕が6000人の前で話すことができる様になったこと。そして会長までさせて頂くなどY E Gとともに20年間を過ごす事が出来たのは、青年部が僕を育ててくれたからであり、素晴らしい先輩や仲間達の支えと、家族の理解があったからだとも思っております。皆さんに感謝でいっぱいです。

ちなみに我が子ども達は「伸びゆく大地」をフルで歌えます(笑)

僕が入会した年に生まれた青年が入会したことを嬉しく思い卒業します。

Y E G大好きです！本当に長い間ありがとうございました。



丸木 治男

皆様大変お世話になりましたがどうもありがとうございました。

私よりY E G歴が長い方が多い中、まだまだ名残惜しいのですが先に卒業することになりました。約3年半の短い期間でしたが、様々な経験をさせていただき人間として成長できた期間でもありました。私と関わっていたいたすべての会員の皆様、OB方々の商工会議所の皆様に感謝申し上げます。

皆様にも良く話をするのですが、もっと早く入会していたら良かったと心から思います。それは、Y E G活動を通しての仲間は一生の友人になると感じていますし、そんな貴重な

な時間をもっと長く過ごしたかったという気持ちからです。最後に、卒業生として一言、「Y E Gらしく」を忘れないでいてください。挫に捉われず、失敗を恐れず、新しいことにどんどんチャレンジしてください。それが実現できるのがY E Gの良さだと思います。皆様の今後の益々のご活躍を祈念いたしました卒業の言葉とさせていただきます。



小山 嘉雄

私がY E Gに入会させて頂いたのは2013年10月で、何も出来ず卒業となつてしまいました。

交流委員会の皆さんにはご迷惑おかけした事心苦しく思います。その中でY E G活動中、委員会でも知り合えた方々との時間はとても楽しく、また多くの良い気付きをもらえたこと非常に感謝しています。

短い間でしたが、沢山の思い出ができました。今までお世話になり、ありがとうございました。



本城 卓哉

平成21年度に入会しY E G活動をスタート致しました。

入会当初は、担当委員会委員長、副委員長の指導のもと、訳も分からないままに、Y E Gの活動に参加し新入会員ばかりの委員会で、福井Y E G 35周年記念事業、まち歩き事業をやり遂げる事が出来た事をおぼえています。

あれから5年多くの事業や行事に参加させていただき、年齢も職業も違うメンバーが集まり、それぞれの得意分野を生かし、協力をすれば、いろんな事が実現できる団体だと実感しました。

福井Y E Gの発展と会員皆様さまのご活躍をお祈り申し上げます。

ありがとうございました。



野波 俊光

約2年間という短い期間ではありましたが、福井Y E Gの皆様には大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。

入会当初は、地元である福井市の現状について私自身あまりにも知らなすぎであることを痛感し、他のメンバーから教えてもらうことばかりでした。「まち・ひと・生活活性化委員会」の久野委員長をはじめ他の委員会メンバーに背中を押して頂き、「秋のまち歩き」や「福井城址・さくら舟」などでは貴重な体験をさせて頂きました。

最終年度に所属した「ビジネス向上委員会」では、今井委員長をはじめ他の委員会メンバーとともに「今後のビジネスに役立ちそうなテーマは何か」について大いに語り合い、例を盛り上げたことは今でもとてもよい思い出です。今後はY E Gでの経験を糧に、引き続き地域活性化や自己研鑽に努めて参りたいと思います。

最後になりましたが福井Y E Gの皆様は今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。ありがとうございました。



平成26年度委員長コメント

総務・渉外委員会



委員長
天野 準一

平成26年度総務・渉外委員会委員長を務めさせていただくにあたりいくつかの約束事を自分の中で持ち、職務に当たらせていただきました。

その中でも一番の約束ことは「会のためになる行動をする」というものでした。元々の職務としてたとえばエンジェルタッチの運営や入退会会員の登録作業、また毎年総務で担当している事業などがありましたが、「会のためになる行動」として自身でやるうと思つた事は「すべての事業に出て模範となる」「参加率の低い会員が参加できるよう働きかける」「新入会員をいれる」「委員長どうしの交流をつくる」など。

福井YEGが本来持つていた大きな力を引きだし、さらに拡大ができたらと思いい年度当初にこつそり心に決めました。

一年間が終わりそれぞれの目標にたくさんの方が達成されました。しかし、思い返しますと実際は各委員会の委員長の皆さんがやってくれていたり、当委員会メンバーがやってくれていたり、会員の皆さんがやってくれていたり。僕が直接やったことといえば「すべての事業に出る」ことくらいでした。

改めてですが私一人ではあるものの少なさと、組織として動くことの偉大さ、そして仲間のありがたみをとつてもたくさん感じる事ができた一年間でした。こういう機会をいただけたことに、そしてご支援、ご協力をいただいた皆さんに、心より感謝いたします。本当にありがとうございます。

交流委員会



委員長
山田 祐司

交流委員会は今年度4事業と交流事業1回開催しました。まずは7月に行いました鯖江YEGとの3地区研修交流事業。キャリアアサミット委員会と合同開催とのことで進めましたが、2委員会が合同で事業を進めるのがとても難しく、多くの課題が残る事業になりました。次は9月開催、会員交流レクレーション事業。ちようど40周年事業と並行して企画を進めているところ、天野委員長からのお声掛けをもらい、こちらも総務・渉外委員会との合同開催に。前回の失敗を踏まえながら交流運動会&交流BQをふくむ健康の森を会場に秋晴れの中開催できました。11月29日開催しました11月度例会創立40周年記念事業では、新入委員会でありながら県内外から約200名参加の大事業の中心に立つて、会員メンバーと共に共同で開催ができました。当日までは委員会メンバーには負担が大きかかりましたが、結束力で乗り越え、全員が大きく成長できました。翌年2月あじさい会との交流会開催。当初の予定とはイレギュラーな日程変更、2月7日あじさい会25周年記念式典と同日開催となり、今回も先輩方と合同で企画を進め、課題をものともせず無事終了いたしました。

交流事業では6月にボーリング大会を開催し自己負担にも拘らず、多くのメンバーに参加していただき、大交流ができました。思い返してみると、交流委員会の1年間は名前の通り交流色の強い年となりました。1年間多くの方に支えていただき誠にありがとうございました。

ビジネス向上委員会



委員長
今井 順也

「ビジネスは担当例会6回か、少なくない？」これは年度の事業計画の打ち合わせの際に菊会長から寄せられた衝撃の一言です。年間6回と言えば2ヶ月に1回なので、年間休むことなく、次の例会に向けてアイデアを出したり準備をしなければなりません。それに少ないと言われるのは前年のビジネス系委員会が異例の担当例会8回だったということがあります。それも前年は評判がよかったので、今年はそれに負けられないようにとプレッシャーも大きい1年でした。

主に、今年度のビジネス向上委員会の特徴は2つです。1つは、各例会のテーマを年度スローガンにかけ、それぞれ「〇〇を指し示せ」として、例会の狙いを明確にしたこと。もう一つは、3分間ビジネスプレゼンを各例会に折り込み、プレゼンをする側、聞いて評価する側、両方のスキルアップを図ってきたことです。3分プレゼンは総勢25名の方に発表頂き、普段あまり知ることのない会員の仕事の内容を知ることが出来たという点でもビジネス向上に繋がったと自負しています。それ以外にも会員の士業メンバー10名が講師となる形で進めたりスクマネジメント例会や、済生会病院の現院長を招いて行ったオープン例会など、思い出深い例会は多いのですが、皆様の支えで何とか1年間の例会を企画してこれました。一緒に例会を作り上げた委員会メンバー、参加して頂いた会員の皆様はじめ、この1年、委員長として成長させて頂き誠に有難うございました。

キャリアアサミット委員会



委員長

中川 知士

平成26年度キャリアアサミット委員会の委員長を務めさせて頂きました。

2年連続のキャリア系の委員会を担当したという事で、非常に密度の濃い2年間であり、とても勉強になりました。他団体との交流もあり、地域との交流もあり自分にとっても成長させていただきました。

振り返ると、今年は「感謝」の1年間だったと思います。「ラブ&パッション」をスローガンに進めてきましたが、副委員長はじめ委員会メンバーが僕の想いをカタチに変えて頂きました。特に11月に行われたキャリア教育フォーラム2014では、メンバー1人1人が仕事する時間も寝る時間も割いて必死に頑張ってくれました。そのおかげで僕の想い描いていた最高のフォーラムが開催出来たと思っております。本当に感謝しております。ありがとうございます。

キャリア教育とは本当に奥が深いと感じております。まだまだ僕の知らない事もたくさんあります。なぜキャリア教育が必要なのか？なぜ福井YEGがアントレ・キッズ事業を行っているのか？アントレ・キッズの本当の意義とは何なのか？1人の親としてどんな子供に育ってほしいのか？今一度皆さんも真剣に考えてみて下さい。我々YEGとして進むべき道を指し示す必要があるのだと考えます。

最後になりますが、1年間ずっと信頼して頂いた副会長、僕のがままを聞いて下さった副委員長の皆様、活発な議論を交わし積極的に取り組んで頂いた委員会メンバーの皆様、そして1年間当委員会の事業に参加して頂いたYEGメンバーの皆様、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

誇り溢れる地域づくり委員会



委員長

柴田 光義

誇り溢れる地域づくり委員会委員長の柴田です。

みなさんご存知の通り当委員会は「ふくい春まつり事業」「お掘りの灯り事業」「フェニックスまつり映画事業」「大規模まち歩き事業」など、各事業において、地域の方と協働で行う事も多く、実に多くの方と交流を深める事が出来た一年でした。

特に、フェニックスまつり映画事業においては、「より多くの市民がまつりに参加できるようにしたらよいのだろうか」をテーマに委員会全員で考え、これからの福井を担う子どもたちに「福井の夏まつり」を記憶に残してあげたい。そして、大人になった時、自分たちのまちには「子どもから大人までが参加できる『まつり』があるんだ!」ということを誇りに語り継いで欲しい。との思いで「子ども神輿」を実施しました。

初年度という事もあり、子ども神輿の参加数は7基約80名と少なかつたものの、参加した保護者や園関係者からは「初めてフェニックスまつりに来た」「親子で参加できるまつり」を続けて欲しい」との意見も多く頂き、フェニックスまつりにおける新たな参加者層も期待できると強く実感しました。

また、大規模まち歩き事業では、東郷地区において地元若者がガイド役を務め、我が地域の魅力を自らが知り、参加者に伝えるという継承を実践した他、本年度で第2回目のまち歩き普及セミナーにご参加頂いた地域の方と、来春（H27）にまち歩きを実施予定となるなど、多くの方と交わり活動してきた年でした。

今後も、我々はもちろん市民が我が地域を愛し、誇りを持って次代に繋げていけるよう、これからも取り組んでいきたいと思えます。

最後になりますが、暴走委員長を支え、付き合ってくれました委員会メンバーのみなさん、最高に楽しませて頂きました！GREATな一年間をありがとうございました！

4月例会

委員長所信の様子



平成27年度会長抱負



平成27年度会長

森下峰雪

平成27年度スローガン

Your Growing, Our Future

(一人の成長が私たちの未来をつくる)

「ひと」とまじわり成長し、地域と共に進化する

私がYEGに入会してから今年で9年目を迎えます。この間、諸先輩方や沢山の仲間を支えていただきながら活動してきました。その中で感じるのは、事業に対する熱い想いを持ち、よく考え、苦勞した事業は、やりきった後の充実感が大きい。そして、そんな時、人は成長をするのだと感じました。

平成27年度は「成長」「まじわり」「進化」この3つのキーワードを掲げ進んでまいります。会員それぞれがあらゆる事に熱い想いを持ってチャレンジして成長する。個の成長が企業・単会組織・地域の成長に繋がってまいります。そしてその過程のなかで、人とのまじわりを持ち、人の想いを感じる。積極的に、沢山のまじわりを持ってYEGを楽しみましょう。それと同時に、YEG事業も仮説と検証を繰り返して進化させていく。今ある事業一步も二歩も前へ、新たなところに可能性があると感じれば新たな一步を踏み出し、進化させていきましょう。

平成27年度、おもいつきり楽しみましょう!!

平成27年度委員長あいさつ

※委員長は27年4月の定期総会に提出予定の議案であり、編集時(27年3月)では正式決定されたものではありません。

総務・渉外委員会



委員長 山田祐司

平成27年度総務・渉外委員会の委員長を務めさせていただきます、山田祐司です。不慣れた委員長で皆さまにはご迷惑をかけるかもしれませんが、精いっぱい山田らしい総務・渉外委員長を務めていきたいと思っております。次年度総務委・渉外委員会は「ひと」との交わりをメインに1年間取り組んでいきたいと思っております。天野委員長が1年間目指してきた休会者を1人でも多く復活してもらおう思いを引き継ぎ、なかなかお顔を拝見できていない会員に常に声をかけ、常に参加しやすい環境づくりを目指します。数は力です。これから福井YEGは更なる進化に向けて事業に取り組んでまいらなければいけません、そのためには1人でも多くの協力が得られるようにサポートしていきます。成長・拡大委員会が新入会者20人を目標に掲げています。我々委員会も協力するのはもちろんのこと、会員の交流がより一層深まるような設えのための提案を委員会からどんどんしていきたいと思っております。「一人の成長が私たちの未来をつくる」成長のためにしっかりとしたバックアップで森下次年度が目指す福井YEGの未来づくりに大きくて太い大黒柱になれるよう委員会全総力で取り組んでまいります。皆様、1年間未熟な委員長ではありますが、よろしくお願いたします。

拡大・成長委員会

委員長 中川 知士



平成27年度拡大・成長委員会の委員長を務めさせていただきまます。入会6年目の中川知士です。どうぞ宜しくお願い致します。

新入会員の委員会ということで非常に大事な役割を頂いたと、プレッシャーを感じております。今まで経験した事をフルに活用し、さらには熱いパッションを持ちながら新入会員の教育、成長に力を注いでいきます。担当する例会は交流メインになるとは思いますが、新入会員らしく、斬新且つ大胆なアイデアを基に、どんどん交わりをしていきたいと考えています。交わる事でお互いを知る事が出来る。知る事で新しい何かを見つける事ができ、成長していく。その成長が次のステージへの一歩を踏み出せる勇気になる。交わるという事は、人としても団体としても事業としても当てはまる事だと考え、1年間委員会メンバーで実行していきます。

もう1つ大切な事が、会員の拡大です。YEGという団体は年齢制限もあり入れ替わりが1年ごとにある現状です。会員の拡大というのは永遠のテーマなのだと思います。担当委員会だけでは限界があると思いたす。仮に現在100人いる会員メンバーが1年間で1人入会させると、プラス100人で200人の組織になるという事、つまりはメンバー1人1人が会員拡大という意識を持つ事が大切で、その事が拡大への第一歩なのだと考えます。目標としましては前期10名、後期10名の計20名の会員の拡大を目指します。今年1年どうぞ宜しくお願い致します。

ビジネス活性化委員会

委員長 大村 亮輔



平成27年度、ビジネス活性化委員会の委員長を務めさせていただきまます。大村亮輔です。よろしくお願ひいたします。

平成27年度のビジネス活

性化委員会では、通年通りの福井商工会議所青年部会員の資質向上を目的とした例会及び、福井商工会議所青年部会員外の方も交えたオープン例会。そして、新規事業として地域活性化事業を立ち上げまます。

例会及び、オープン例会については、福井商工会議所青年部会員が青年経済人としての資質を高め、成長を実感できるような事業を構築できるように考えていきます。

地域活性化事業については、地域の活性化につながる事業を構築できるように考えていきます。特に、ビジネス系委員会ならではの事業となるよう、頑張りたいと思います。

初めての委員長で、委員会メンバーに教わることも多いとは思いますが、森下次年度会長のスローガン「Your Growing, Our Future」の「心」とまじわり成長し、地域と共に進化する」を基に、委員会メンバー、そして、地域の方々と力を合わせて共に進化していけるよう頑張っていきたいと思ひます。

キャリア教育推進委員会

委員長 吉村 哲一



平成27年度キャリア教育推進委員会初の委員長を拜命致しました吉村です。

当委員会では、平成17年に立ち上げ24年に第2回キャリア教育アワードを受賞した「おしごと探検隊アントレ・キッズ」を中心とした事業を行います。

今年度は、その過去行われてきたアントレ・キッズを振り返り検証を行うと共に、その根幹的な部分の理解を深め、改めてその意義や自己研鑽につながる事、地域に必要とされているという認識を拡げていきたいと思ひます。

キャリア教育ってそもそもなんだろう？アントレ・キッズって実際どんなものかよく分からない。といったメンバーの声を聴く事があります。「キャリア教育」はとても沢山の表現・意味合いを含んでおり、一言では言い表せません。しかし、その意義を知り地域においてアントレ・キッズという手法で携わる事で、地域の子供たちの未来が広がり、地域の産業の活性化、また自分の仕事を再認識する事で自己や自社の発展につながります。

今、キャリア教育は国の政策として推進する大きな流れが来ています。そして教育の現場からも協力を求める声が上がっています。福井YEGとして、自信をもってキャリア教育に参画していけるよう、メンバーの皆さんと共に「学び」、そして「楽しみ」ながら一生懸命取り組んでいきたいと思ひます。

郷土・愛する委員会

委員長 勝見 泰久



平成27年度「郷土・愛する委員会」の委員長を務めさせていただきます勝見泰久です。

みなさま一年間よろしくお願ひします。

私は、福井YEGに入会しまして、2年間まち系の委員会に所属し副委員長を2回務めさせていただきました。その中で、各種事業に参加していく中で、地域の方との連携、交わりの大切さを改めて実感しております。

当委員会のスローガンは「地域の活性化は、郷土（我地域）を愛する心から」今まで以上に地域の方と交わりを持ち、ともに成長する」

まずは、我地域の事を何も分からないのでは前に進めません。未だに「我地域には何もない」と言われる方がおりますが、何も無いではなく、何も知らないだけなのです。

興味を持ち、普段見過ごしている物に目を向けると、新たな発見は必ずあります。

各自が考え、伝え、広める事が大事です。また、地域の方（老若男女）と今まで以上に交わりを持ち、地域の活性化を目指し、福井YEGとして何をすべきか、また各事業に、参加して下さる市民の方に楽しんでいただくために何をすべきか。これから一年間委員会メンバーとともに意見を出し合い、取り組んでいきたいと考えております。

初めての委員長で、色々勉強しながらの活動となりますが、一年間どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

平成27年度 福井商工会議所青年部 組織図

※本組織図は27年4月の定期総会に提出予定の議案であり、編集時（27年3月）では正式決定されたものではありません。



新入会員紹介



多田 健太郎

株式会社 米五

2015年1月に入会したばかりで2014年度の活動にはほとんど参加できませんでしたが、今後は出来る限り参加することで、いろいろな経験や多くの方々と交流し、自分自身を成長していきたいと思えます。少しでも早くY E Gの一員として活躍できるよう頑張ります。



竹内 亨

酒のタケウチ

今年度の4月より入会させて頂き、始めはゆっくりと福井Y E Gに馴染んでいこうと思っておりましたが、創立40周年事業の担当者に指名頂けた事により、多くの方々と交流ができ、福井Y E Gの力強さが見る事ができました。私が感じる福井Y E Gとは、思いを共有化することで様々な可能性と成功体験が具現化できる組織だと思えます。今後とも宜しくお願い致します。



田安 章

株式会社 TAYASU

この度福井商工会議所青年部に入会させて頂いたという事で、皆様との関係を深めていき、錆びる、光沢がでる、様々な形に変化する鉄の本質のように、私自身の本質も磨き変えていきたいと思っています。今後とも若輩者ではありますが、どうぞよろしくお願いたします。

新入会員紹介



トライ ドゥ カメラ

達川 竜司

三地区交流事業や40周年記念事業など新入会員で右も左もわからない状態であろうかと思いましたが、大きい事業を担当したことで会員同士の繋がりもできて、本当に充実した1年でした。次年度は解らない事もたくさんありますが、副委員長として委員長をサポートできるような頑張っていきたいと思えます。



有限会社 エース企画

原 勝敏

YEGでの活動を通じて様々な業種の方と交流させて頂き、少しでも多くの事を学び、スキルアップ、ヒトとの繋がりを大切にしていきたいと考えております。まずは、自分が楽しみ、人材ではなく人財と成れる様、成長していきたいと思っておりますので、ご指導宜しくお願い致します。



有限会社 土谷

土谷 宏明

入会して日が浅く活動経験も少ないのですが、交流委員会の行事を通じてメンバーのはつらつとした様子を目の当たりにし、YEG活動の充実ぶりを実感しています。

私もYEG諸先輩を見習い、自己のビジネスキャリア形成と人格向上に努めながら、各事業においては地域社会の活性化に役立てるよう活動していきたいと思えます。



株式会社 ヴィンネットワーク

朝日 一博

青年部に入会させていただき、まだ1カ月ですが、先輩方の暖かいサポートのおかげで無事に活動に参加できていると思えます。まだ分からないことだらけですが、例会やその後の懇親会などにも参加し、青年部の活動に積極的に関わっていきたいと思えます。



株式会社 E-I GANG

前田 和也

平成26年12月に入会させていただき、現在は交流委員会で活動しています。まだ大きな事業には参加できていませんが、YEGに入会して思った事は、『みんなで力を合わせればできない事はない』という事です。次年度もみんなで協力し合いYEGを盛り上げていきたいと思えます。宜しくお願いします。



勸和工業株式会社

富田 慎一

昨年3月に入会しましたが、夏以降は会議や行事に参加できませんでした。しかし、委員会の方々と交流することが出来ました。これからもよろしくお願ひします。



Barlutch

明瀬 達哉

YEGに入会させて頂いて、まだまだ右も左もわかりませんが、もっと積極的にいろんな活動に参加し、先輩方を見習い少しでもスキルアップできるよう頑張りたいです。宜しくお願いします。



株式会社 前田美装工業

松井 尋志

昨年の4月に入会し、諸先輩方と共に数々の事業に参加させていただき、言動、行動等色々勉強させていただきました。改めて自分の在り方を考える事ができました。今後も色々な事業に参加し、YEG発展に貢献できたらと思えます。



株式会社 ホンダクリオ福井

松井 裕隆

入会して早々、皆様が40周年事業で忙しく動いている中で、自分は右も左もわかりませんでした。祝賀会班では、アトラクションの司会もさせて頂いた。委員会の垣根を越えて交流を深めることができました。地域に根差した活動に積極的に参加して、福井に貢献していく所存です。



株式会社 グッドウイン

武澤 克典

4月に入会し、主な事業として「40周年記念事業」「三地区合同例会「秋のレクリエーション」と大きなものは三つありました。どの事業もお客様に来て頂き、迎え入れる側として、「おもてなし」の心が大事だったと思えます。どうやれば来て頂いた方々に満足してもらえかが非常に難しく、今後の会員活動・自分の職業に大きく役に立つ経験ができました。

あじさい会通信
活動を振り返って

平成25、26年度会長 高原裕一

まずは、本年度25周年を迎えることができ、あじさい会員並びにYEG会員の皆様には多大なご協力を賜りましたこと、深く御礼申し上げます。先輩諸氏が四半世紀に渡り繋いでいただいたあじさい会員同士の絆、YEG会員との交流の機会は、福井のまちづくり、経済発展の礎となるものと確信しています。今年度の25周年事業、並びに福井YEG40周年事業の参加を通してその意義を再確認できましたことは喜びに堪えません。

事業といたしましては、昨年は福井ミラクルエレファントの応援事業を行いました。遡ること一昨年には古里福井をテーマに音楽活動を行っていただける楽衆玄達さん、さらには福井歴女の会さんとの交流事業など、歴史、文化、スポーツをテーマに地域の誇りを再発見する事業を行って参りました。

現役YEG会員の皆様は未来に向けての様々な活動を積極果敢に推進されておられると思いますが、一方でそのOB会である当会の今年度は、既述しました通り、古き良きものとの対峙という活動が多かったです。

これらの活動の結果としまして、YEG会員の皆様へ少しでもよりよい協力を、深い想いでじんわりとさせて頂けたのではないかと存じています。これから益々地域の核となる行動力が期待されるYEGの卒業生団体として、これからもいぶし銀のような枯れた光を放ちつつ、ご支援させていただきたいと決意することができた有意義な年でありました。

事業にご協力頂きました皆様、事務局の方々のご理解とご尽力の賜物と感謝しております。どうも有難うございました。

サークル掲示板

寒気団
福井商工会議所青年部スキー・スノーボードサークル「寒気団」！スキーもよし！スノーボードもよし！子供を連れてソリ、雪遊びもよし！みんな雪山で楽しく遊ぶサークルです。メンバー募集中！



若芽会

平成19年5月、第1回若芽会が発足してから足かけ8年目。年4回開催を基本とし、今まで延べ300名の参加者で賑わってきた。また、「YEGを卒業しても若芽会は卒業しない」と名言を残された先輩も数多い。



西木田通信

高井 初めて青年部の事務局を担当して、率直にどう感じましたか？

高井 青年部の皆さんはひとりひとり個性豊かですが、事業ごとに一致団結して取り組み成し遂げていくその団結力や実行力がすごいと感じました。最近では、業務に慣れてきた感じがですね。直接朝井さんに青年部から連絡が入ることが増えて、実は嫉妬してしまいました。ただ、他の業務もあるのが大変だったと思います。でも、このような青年部の方とのやり取りを通してその距離が近くなると、事務局を担当している意味が無いと考えています。青年部の方は、福井商工会議所の大切な会員でもあるので、組織の基盤である会員事業所と近い関係を築くことは商工会議所職員としてとても重要なことです。会員の方にお話ししなければならぬ商工会議所の業務もかなり多いですからね。

朝井 青年部以外の業務もあるので、片手間で対応せざるを得ないことも多く、どれだけ皆さんのご期待に応えられるのか自信がないですが、これからも多くの会員の方と接して、商工会議所職員としても色々と勉強していきたいと思っています。

高井 成長した様子が窺えてとても嬉しいです。安心して事務局を卒業できます。1年間大変お世話になりました。どうもありがとうございました。さようなら。

朝井 高井さん、待ってください！まだ一緒に事務局お願いします・・・